

今月は**サバイバル**がテーマです。

知恵と勇気をもって、困難な状況から脱出する

人間の強さの物語。

ハラハラドキドキの読書体験をどうぞ!



『穴』

ルイス・サッカー/作

幸田敦子/訳

講談社

無実の罪で、毎日砂漠で『穴』を掘られるスタンリー。だが、ついに『約束の地』をめざし決死の脱出を図るのだが・・・理不尽で不運な境遇にもめげず、熱い友情と勇気で乗り越える冒険物語。同タイトルで映画にもなりました。



『無人島に生きる十六人』

須川邦彦/著

新潮社

明治時代にあった実話です。

辛い無人島生活を、仲間と助け合い前向きに力強く生き抜く姿は素晴らしいものです。

現代に生きる私たちに、大切なものを教えてくれます。



『シャクルトンの大漂流』

ウィリアム・グリル/作

千葉茂樹/訳

岩波書店

実話に基づく、勇気と冒険の

物語。南極の氷上に取り残されたエンデュランス号28名の乗組員たちにはどんな運命が待ち受けているのか？

